ヴァルハラ NEWS 2024年 6月号

Follow me!
Instagram
VALHALLA.HOUKAN
VALHALLA_REHACENTER
VALHALLA_TRAINING_JUNIOR
VALHALLA_COMMUNITY1
SAPPORO.ROBOCARE

ヴァルハラリハセンター

好評により 第2弾！！ (^▽^)/

皆勤賞には
プレゼントが
あるゾ！

6月下旬から7月にかけて、ドライブイベントなど計画しています！
昨年10月の藻岩山ドライブでは、皆さんの素敵な笑顔をたくさん見る事ができました。
今回も、皆さんに楽しんで貰おうと、スタッフ総出で知恵を絞っております(笑)
ご期待ください！！

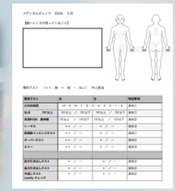
2024-2025構想

在宅での小児～高齢者まで、医療から介護、福祉のかかわりの中で、宿泊サービスのご要望が多く聞かれます。
そのバックグラウンドには、レスパイト、看取り、集中的なリハビリテーションなど様々な目的が個々で求められています。
以前から考えていた看護小規模多機能+小児・障害の短期入所、回復期からダイレクトに自宅復帰が困難なケースの短期的なリハビリテーションなどを目的とする、共生型の複合施設を検討しています。
2階にはロボケアセンター、VRリハセンターを移転、装着型サイボーグHAL®やmediVRカグラを導入し、看取り、レスパイトから集中的なリハビリテーションが実施でき、在宅復帰に寄与できる地域に必要な施設を検討しています。
（担当：野崎・木村）

社長暴走中①

ヴァルハラトレーニングセンター

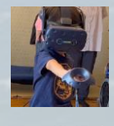
5-6月で南区のミニバスケットボールチームの支援がはじまりました。
ケガの予防、整形外科テスト、足型計測、インソール作製など、選手一人ひとりに対し、検査、評価を行い、自主トレーニングメニュー立案や評価のフィードバックをコーチや保護者に行いました。
オーバーワークやクールダウン、セルフストレッチなどの重要性を知っていただける機会となりました。
（クラブチーム支援担当：柴野・井上）

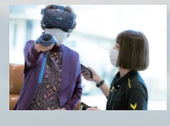


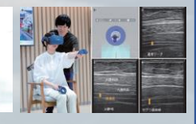
札幌VRリハビリテーションセンター開設〈2024年7月〉

社長暴走中②

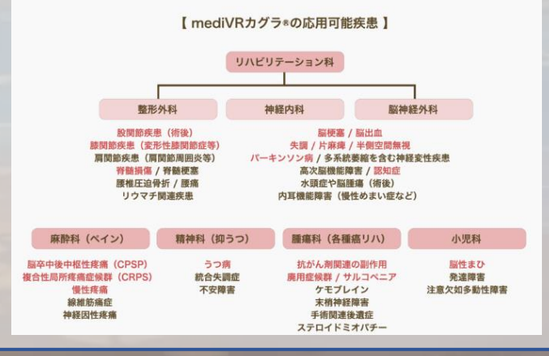
mediVR カグラ 導入







mediVRカグラは、仮想空間上の狙った位置に手を伸ばす動作（リーチングと呼びます）を繰り返すことで、姿勢バランスや二重課題型の認知処理機能を鍛えるリハビリテーションをサポートするための医療機器です。
歩行機能、運動失調症状、上肢機能、認知機能障害(高次脳機能障害や注意障害)、慢性疼痛、めまい症などの症状改善に効果を示すことが報告されています。



リハビリテーション主体の保育所等訪問支援
保育所等訪問支援 てとて

6月から支援がはじまりました。集団生活の中で特性や困り感が解消できるよう発達に合わせた支援、感覚遊びや療育課題などで楽しい時間になるようにセラピストが行っています。写真にあるセンサリーボトルやペットボトルキャップで作った磁石の入っている積み木が人気です。少しずつ集団生活でも困り感がなく生活できるようになるとよいですね。

～ヴァルハラ訪問看護ステーションより～

24時間緊急・看取り対応 あり　年齢・疾患問わず
小児～高齢者まで幅広く対応!

Nrs（看護師）

意外と侮れない便秘について今回はお伝えしたいと思います🧐
「便秘」とは、排便回数や排便量が少なく、排泄されるべき便が腸内に停滞した状態を言います。定期的な排便があっても、硬い便が続いたり、残便感や不快感を伴う場合は便秘です。

高齢者の便秘の原因は・・①加齢に伴う食事摂取量の低下、運動量の低下、筋力低下など　②腸管運動機能低下をきたす疾患（糖尿病、甲状腺機能低下症、腎機能障害、パーキンソン病、脳梗塞、不安障害、うつ病など）③薬剤の副作用などです。

便秘のケアとしては、①下剤の使用　②摘便　③浣腸　④温罨法　⑤腹部マッサージ　⑥食事改善　⑦運動です。日常生活で大切なのは、バランスの良い食事を3食摂取すること、水分摂取、適度な運動が軸となります！なかなか難しいと思いますが、少し意識していくだけでも変わってきます。

便秘ケアはその方に合った方法で行っていきますが、便が停滞することが長く続くと腸閉塞や直腸潰瘍、虚血性腸炎といった合併症のリスクが高まります。

川村　茜

VALHALLA.HOUKAN

インスタグラムで
詳しく見てみよう

ST（言語聴覚士）

前回から嚥下障害についてご紹介していますが、その流れで今回は誤嚥性肺炎についてです。『誤嚥』、良く耳にする言葉ですね。ノドの奥は、空気を肺に送る”気管”と、食べ物を胃に送る”食道”の２つの道に分かれています。誤嚥とは飲み込んだ食べ物や唾液等が、食道ではなく気道（気管）に入ることです。食べ物や水、唾液を飲み込むと気管の入り口を塞いでくれるので、食べ物等は気管に入らずに食道に流れて胃に送られます。

健康な人でも誤嚥は起こりますが、通常はムセるなどしてすぐに出すことができます。しかし、加齢や飲み込む機能が弱くなると、ものを出す力が弱まり、そのまま気道（気管）に入り込んでしまうことがあります。これを誤嚥といい、誤嚥したものと一緒に細菌が肺に入って炎症が起こったものが誤嚥性肺炎です。
そして、お食事を食べていない方でも睡眠中などに唾液が肺に流れ込んで誤嚥することもあるんです💡

日常の口腔ケアがいかに大切か！ということですね！！

阿部　弘美

新しいSTのご紹介
🤗
言語聴覚士
丸山　美帆子

5月よりこちらの訪問看護でお世話になることになりました。STになって12 年目となります。大半を脳外科勤務で過ごしましたが、かねてより興味のあった小児分野でも関わりを持ち、色んな方の生活場面でお手伝いできたらと思います。訪問は不慣れですがよろしくお願いします。

〈大切にしていること〉
ゆっくりする時間・旅行

〈趣　味〉
登山・トライアスロン・SUP

PT（理学療法士）

今回は、小児のおもちゃについてご紹介いたします(^^)/
「おもちゃを買ったけどあまり興味を持ってくれない」
「リハビリにもなるおもちゃってどんなものだろう」など・・
ふと疑問に思ったことはないでしょうか？当ステーションでは小児を担当させていただくことが多く、また、お子さんがいらっしゃるセラピストも多いです😊

立位で荷重をかけたいけどなかなか立ってくれないという時は、テーブルに輪投げ等を置いて、立たないと手が届かないような環境で遊んでもらいます。また、風船で遊ぶことで歩く環境を作ったり、音が鳴るマットを繰り返し踏んだりすることもリハビリになります。

色々試してみる中で反応の良い物や気付きがあります。またお家のおもちゃで色々なリハビリの方法も検討しご提示させていただきます。ぜひお気軽にご相談ください！

近藤　星良

2024年 4月1日 OPEN!!

ヴァルハラ訪問看護ステーション 白石サテライト

この度、ヴァルハラ訪問看護ステーションでは、業務の更なる拡大と顧客ニーズに対応するため、令和6年4月1日より白石区にサテライトを開設することになりました。
これを機に職員一同、気持ちを新たにして業務を遂行する覚悟でございます。
お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さいますようよろしくお願い致します。

サービス提供エリア
札幌市厚別区、白石区、清田区、東区一部
豊平区一部、南区一部、北広島市

TEL:011-215-7960

ご希望日時は可能な限り極力寄り添います。
空き状況は変動しますので、まずはお気軽にお電話下さい!
札幌市西区西野3条10丁目9-23

☎011-215-7960
（担当：井田・松原）